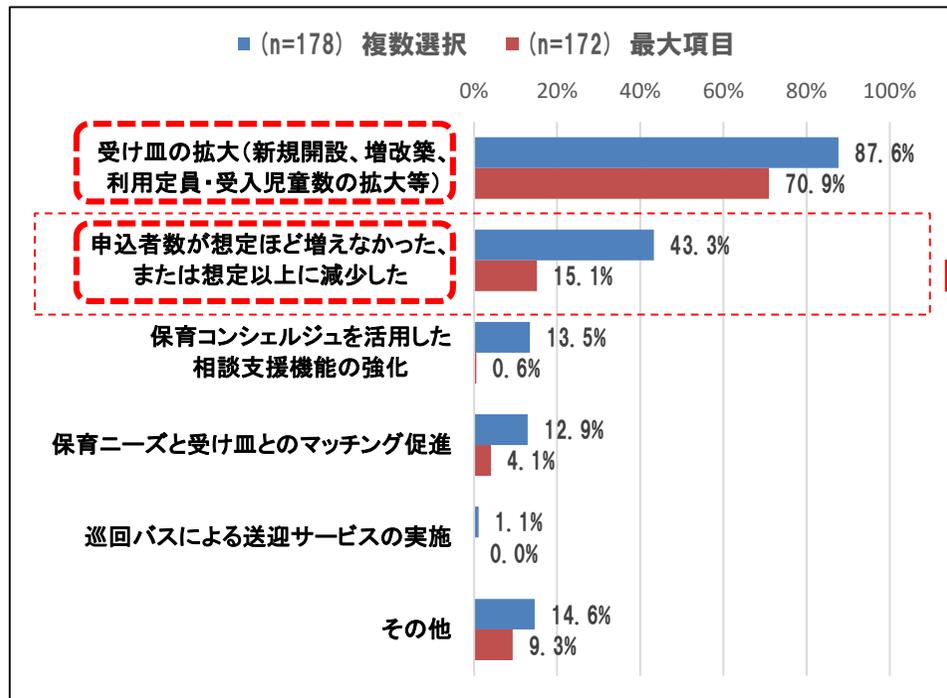


# 待機児童数が減少した要因

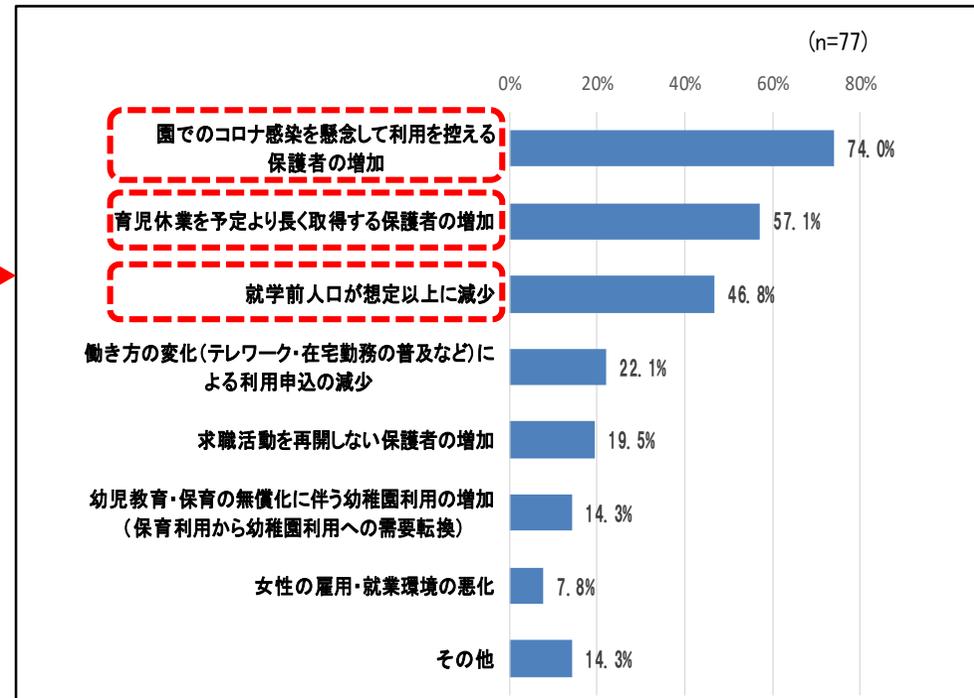
- 令和3年の待機児童数が前年から10人以上減少した自治体（180）に、その要因についてアンケート調査を実施したところ、**受け皿の拡大（87.6%）**のほか、**申込者数が想定を下回った（43.3%）**ことが多くあげられている。
  - 申込者数が想定を下回った理由としては、**新型コロナウイルス感染症を懸念した利用控え（74.0%）**が最も多くあげられている。
- ※ このほかの理由としては、「育児休業を長く取得する保護者の増加（57.1%）」や、「就学前人口が想定以上に減少（46.8%）」が多くなっている。

待機児童数が減少した要因



備考) 令和3年の待機児童が前年(令和2年)から10人以上減少した自治体に対してその要因を尋ねた結果

申込者数が想定ほど増えなかった、または想定以上に減少した理由



備考) 左のグラフにおいて「申込者数が想定ほど増えなかった、または想定以上に減少した」を選択した自治体に尋ねた結果